

昭和館写真展

1946 明日へ

令和3年(2021)
9.11(土)~12.19(日)

入場無料



1. メーデー復活 昭和21年(1946)5月1日 東京都千代田区丸の内 Annette Chait Finestone 撮影 2. 新日本国憲法公布を祝う 昭和21年(1946)11月21日 千葉県香取市佐原 米国立公文書館提供
3. 巡幸先での昭和天皇 昭和21年(1946)2月20日 神奈川県横浜須賀野市鶴居 米国立公文書館提供 4. 選挙権を得て初めて投票する女性 昭和21年(1946)4月10日 東京都新宿区内藤町 米国立公文書館提供

会場：昭和館2階ひろば

開館時間：10:00～17:30(入館は17:00まで)

休館日：毎週月曜日(9月20日は開館・9月21日は休館)

後援：千代田区 千代田区教育委員会

交通のご案内

電車ご利用の場合
地下鉄九段下駅から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線4出口)
JR飯田橋駅から徒歩約10分
車をご利用の場合
首都高速西神田ランプから約1分(九段下交差点)
・有料駐車場(30分200円)
普通乗用車専用駐車場がご利用になれます。



<https://www.showakan.go.jp>

<https://twitter.com/showakankudan>

<https://www.facebook.com/showakankudan/>

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内の一斉清掃や、入場制限を実施しています。詳細はHPでご確認ください。

1946明日



5.



6.

ごあいさつ

昭和館では、所蔵写真を紹介することを目的に毎年写真展を開催しています。今年の秋は『1946 明日へ』と題して、終戦翌年の昭和21年(1946)の出来事や日常の様子を振り返ります。

昭和20年8月15日、長く続いた戦争は終わりを告げ、6年8か月に及ぶ連合軍による占領期が始まりました。

空襲におびえる毎日からは解放されたものの、戦争で家族を亡くし、住む家を失い、食糧不足は深刻さを増し、人びとの生活は困窮を極めました。そんな中で、日本は占領下で初めての新年、昭和21年を迎えたのです。

元日には、昭和天皇の「人間宣言」が発せられ、2月からは地方巡幸が始まりました。GHQ(連合軍最高司令官総司令部)による民主化政策のもとで、女性の参政権が認められ、労働組合が数多く結成されました。教育勅語は廃止され、財閥解体、農地解放が行われ、11月3日には日本国憲法が公布されました。

また表現の自由を手にした人びとが、困窮生活への不満から大規模なデモを行うなど、国民生活は大きく変容していきました。

明日へ向けて再出発した昭和21年の日本をご覧ください。



<https://www.showakan.go.jp>

<https://twitter.com/showakankudan>

<https://www.facebook.com/showakankudan/>

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1 TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575

5. 雪遊び 昭和21年(1946)頃 東京都目黒区八雲 石川光陽撮影 6. 駅で夜を明かす人びと 昭和21年(1946)7月31日 東京都台東区上野 米国立公文書館提供 7. お菓子を配る米兵 昭和21年(1946)6月18日 場所不詳 米国立公文書館提供 8. 博多埠頭に着いた引揚者たち 昭和21年(1946)6月10日 福岡県福岡市博多区沖浜町 米国立公文書館提供 9. 配給物資を持ち帰る親子 昭和21年(1946)10月17日 場所不詳 米国立公文書館提供



8.

9.